

2023年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第1回講義

## 科学技術政策の見方を考える ～科学・技術からイノベーションへ～

理化学研究所 計算科学研究センター 副センター長

渡邊 康正 氏

「科学技術政策特論」の受講者のみなさんは、これからさまざまな分野における行政と科学技術の関わりについて学んでいくことになります。今日、「科学技術」は私たちの生活・社会・環境のあらゆる局面に深い関わりを持ってきており、関連する「公共政策」の各分野で「科学技術」、そして、理工系の思考がこれまで以上に重要になってきています。同時に、「科学技術」を活かしたどのような政策を立案し実施していくか、は各分野によりさまざまです。

また、科学技術により何を実現するのか、分野を超えたキーワードとして「イノベーション」が注目されてきました。

今回の「科学技術政策特論」では、一連の講義のはじめに、こうした「科学技術」政策の見方について皆さんと考えてみたいと思います。

日時：4月14日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業(予定)

渡邊康正先生

東京都出身。東京大学工学部卒業、米・コーネル大学大学院修了(公共管理学修士)。

1989年科学技術庁(現、文部科学省)入庁。原子力政策、科学技術政策、経済外交、技術移転・イノベーション、科学技術国際協力、地球環境科学技術、科学技術政策の調査研究などに従事。最近では、国際科学技術センター(モスクワ)事務次長、農林水産省などを経て、2014年～2016年、北海道大学で「科学技術政策特論」を担当。その後、環境省、科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 企画運営室長、東京農工大学学長特任補佐・教授を経て、2023年4月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授